D×Nの学びで、20年。
札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

プレスリリース
Press Release

2026 年 10 月 30 日

報道機関各社様

# 研究成果と地域のニーズをつなぐ「2026 年度 SCU 地域共創フォーラム」を開催します

本学では、人間重視と地域社会への貢献を理念に掲げ、デザインと看護を中心とした専門分野の特色を生かし、地域社会に貢献する研究・教育活動に取り組んでいます。また、2022 年に AIT センターを設置し、AI・IT を活用した研究も推進しています。

本フォーラムは、これまでの「SCU 産学官金研究交流会」を発展的に改称し、本学等の研究成果や企業との連携事例を紹介するものです。当日は、本学の研究成果を口頭で発表するほか、本学、北海道立総合研究機構、企業等によるポスター発表を行い、共同研究や連携、製品化・事業化につながる交流とマッチングの機会を創出します。

つきましては、本フォーラムの周知及び当日の取材について、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

記

■日　時：　2026 年 11 月 25 日（水）
　　研究交流会　14：00～16：30
　　情報交換会　17：00～19：30

■会　場：　ACU-A 16 階（札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 アスティ 45）
　　研究交流会　大研修室 1614
　　情報交換会　多目的ラウンジ 1612

■対　象：　企業・団体、行政・金融機関・研究機関、大学関係者、本学の研究に関心のある一般市民の方等

■口頭発表：
- 看護　自己表現によるポジティブメンタルヘルス支援の可能性
  ―マンガによる自己表現がストレスの認知や気分･感情に及ぼす影響―
- 看護・デザイン　ALS 患者を支える地域ネットワークの形成と発展
  ～看護学と地域デザイン学による地域支援体制の分析～
- デザイン　BtoB 企業を対象とした共同研究を通して得られた UI デザイン改善の観点
- デザイン　「乗り合う」をデザインするーAI オンデマンド乗合タクシーが拓く交通・健康・情報の可能性
- AI　パーソナル AI－各個人に専属する AI エージェントー

■ポスター発表：添付のとおり

以上

**取材に関するお問い合わせ先**
札幌市立大学　事務局　地域連携課　川上・森
電話：011-592-2346　　E-mail：crc@scu.ac.jp
住所：〒005-0864　札幌市南区芸術の森 1 丁目

# 2026年度
# SCU地域共創フォーラム

## 研究交流会

**14時00分～16時30分**
**参加費無料**

## 情報交換会

**17時00分～19時30分**
**3,500円/人**
**軽食・飲み物付**

# 2026年
# 11月25日（水）

**場所：ACU-A大研修室1614**
**（〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16階）**

札幌市立大学では、開学以来、人間重視と地域社会への貢献を理念に掲げ、デザインと看護を中心とした専門分野の特色を生かし、地域社会に貢献する研究・教育活動に取り組んできました。
また、2022年にはAITセンターを設置し、AI・ITに関する研究、デザインと看護をAIが下支えする研究にも取り組んできました。
本フォーラムは、これまで開催してきた「SCU産学官金研究交流会」を発展的に改称したものであり、本学の研究成果や企業との連携を紹介するとともに、企業・行政・金融機関・研究機関との交流を通じて、共同研究や連携、製品化・事業化に向けたマッチングの機会を創出します。
本フォーラムでは、本学の研究成果を口頭で発表する他、本学・北海道立総合研究機構・企業等の研究成果・事例をポスター形式でご紹介いたします。大学との連携に関心のある企業・団体の皆様、地域課題の解決に取り組む行政・関係機関の皆様、また本学の研究に関心のある市民の皆様など、どなたでもご参加いただけます。
ぜひご参加ください。

<後援>
北海道立総合研究機構、北海道中小企業家同友会、北洋銀行、北海道経済産業局、札幌市

デザイン：札幌市立大学デザイン学部人間情報デザインコース　須藤和花

20th
札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY
本学は今年で20周年

# 口頭発表

看護 | 看護学部 助教 | 渋谷 友紀 | 14:11〜14:26

## 自己表現によるポジティブメンタルヘルス支援の可能性
**—マンガによる自己表現がストレスの認知や気分・感情に及ぼす影響—**

私たちは、日々さまざまなストレスや感情を抱えています。本研究では、こころの健康を支える方法として、マンガによる自己表現に着目しました。看護学生31名が日頃の「モヤモヤ」を4コママンガに描き、仲間と共有した結果、否定的な気分の軽減や気持ちの整理、「自分だけではない」という安心感がみられました。1か月後にも、自己理解や感情の調整、孤独感の軽減につながる変化が確認されました。

看護・デザイン | 看護学部 准教授 | 高橋 奈美 | 14:27〜14:42

## ALS患者を支える地域ネットワークの形成と発展
**〜看護学と地域デザイン学による地域支援体制の分析〜**

難病患者が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、医療・保健・福祉をはじめとする支援体制が欠かせません。本研究では、A管内を対象に、かつては人工呼吸器を使用する難病患者の在宅療養が困難であった地域において、どのように支援ネットワークが形成され、在宅療養を支える体制へと発展してきたのかを明らかにしようとしています。看護学部とデザイン学部の共同研究として、人と人とのつながりや連携のプロセスに加え、地域資源の配置や地理的特性にも着目し、地域の実情に応じた支援体制のあり方を検討しています。

デザイン | デザイン学部 教授 | 柿山 浩一郎 | 14:43〜14:58

## BtoB企業を対象とした共同研究を通して得られたUIデザイン改善の観点

東京エレクトロン株式会社とのUI（ユーザーインタフェース）改善に関する共同研究を事例に、UI研究に求められる観点の整理を試みた。4年間の共同研究報告書と、デザイン学・認知科学分野の102件の知見を対象に、人間とAIの役割分担による内容の近似性に基づく比較分析を行った。その結果、同社のUI改善に特徴的な観点を整理しガイドラインとしてまとめるとともに、BtoB企業のUI研究に適用可能な仮説的観点を提示した。

デザイン | デザイン学部 准教授 | 小林 重人 | 14:59〜15:14

## 「乗り合う」をデザインする
**—AIオンデマンド乗合タクシーが拓く交通・健康・情報の可能性**

バスの減便が進む札幌市内では、移動困難が高齢者の社会的孤立や生きがいの喪失と直結している。この課題に対し、高齢化率49%のもみじ台団地でAIオンデマンド乗合タクシーを導入した実践を報告する。タクシーを「乗り合う空間」として意図的にデザインすることで、生きがい・社会的つながり・将来への希望といったポジティヴヘルスの改善と関連することが明らかになった。超高齢社会における交通・健康・情報を横断する新たなサービス設計の可能性を探る。

AI | AITセンター 特任教授 | 橋田 浩一 | 15:15〜15:30

## パーソナルAI —各個人に専属するAIエージェント

パーソナルAI（PAI）は、利用者のプライバシーを守りながら個人情報をフル活用して利用者を支援するAIエージェントです。利用者は自分のPAIと会話するだけでいろいろなサービスを簡単に使うことができます。他のアプリやWebサイトの操作はPAIがやってくれるので、ITリテラシーデバイドが解消し、自助・共助・公助が高度化し、労働生産性が飛躍的に向上します。PAIを実現するための基盤であるRules as Codeや知識グラフについてもお話します。

# ポスターセッション

15:35〜16:25

| | |
|---|---|
| 札幌市立大学 | 17件 |
| 道立総合研究機構 | 7件 |
| 中小企業家同友会 | 4件 |
| 北洋銀行 | 1件 |
| 北海道医療福祉産業研究会 | 1件 |

計30件（予定）

# 参加申し込み

専用ページから申込
11/17(火)まで

URL
https://forms.cloud.microsoft/r/NJBkR01Qav

インターネット環境が無い方は、電話・メールでもお申し込みいただけます。
口頭発表、もしくはポスターセッション、情報交換会のみのご参加も歓迎いたします。

# お問い合わせ

札幌市立大学事務局 地域連携課
TEL：011-592-2346
E-mail：crc@scu.ac.jp

札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

2026 年度 SCU 地域共創フォーラム出展一覧

| NO | 発表形式 | 所属 | 教員名 | 発表テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 口演 | 看護学部 | 渋谷 友紀 | 自己表現によるポジティブメンタルヘルス支援の可能性<br>―マンガによる自己表現がストレスの認知や気分・感情に及ぼす影響― |
| 2 | 口演 | 看護学部 | 高橋 奈美 | ALS 患者を支える地域ネットワークの形成と発展<br>～看護学と地域デザイン学による地域支援体制の分析～ |
| 3 | 口演 | デザイン学部 | 小林 重人 | 「乗り合う」をデザインする－AI オンデマンド乗合タクシーが拓く交通・健康・情報の可能性 |
| 4 | 口演 | デザイン学部 | 柿山 浩一郎 | BtoB 企業を対象とした共同研究を通して得られた UI デザイン改善の観点 |
| 5 | 口演 | AIT センター | 橋田 浩一 | パーソナル AI ― 各個人に専属する AI エージェント |
| 6 | ポスター | デザイン学部 | 桝田 聡志 | 水素ベロタクシーPIONIE の試作・実現化プロセス-製造実現化の検討および 1/10 スケールモデルの制作- |
| 7 | ポスター | デザイン学部 | 金 秀敬 | メタ認知を動かす AI：生成 AI による自己省察支援の教育的有効性の検討 |
| 8 | ポスター | デザイン学部 | 小西 信義 | 積雪寒冷地域における生活課題の解決に向けた調査研究および協働的実践の紹介 |
| 9 | ポスター | 看護学部 | 牧田 靖子 | 「乳児虐待リスク予測システム」プロトタイプの開発 |
| 10 | ポスター | 看護学部 | 上田 泉 | A 管内における難病(ALS)支援ネットワーク形成の発展プロセス～在宅人工呼吸療法中の ALS 患者の在宅療養を支える～ |
| 11 | ポスター | デザイン学部 | 三谷 篤史 | 高齢者の舌を綺麗にするスキルを学ぶ舌清掃シミュレータの開発 |
| 12 | ポスター | 看護学部 | 栗原 知己 | 観血的動脈ラインの固定具と患者の手指機能の関連性の検討：多機関共同前向き観察研究プロトコル |
| 13 | ポスター | 看護学部 | 須之内 元洋 | 文化の記憶を資産化・活用するためのデジタルアーカイブデザイン |
| 14 | ポスター | 看護学部 | 牧野　夏子 | 熱傷急性期における熱傷患者に対するケアガイドの作成と内容妥当性の検証 |
| 15 | ポスター | デザイン学部 | 村川 奨 | 通院でがん治療を受けながら自宅で安心して暮らすために-病院と地域が一緒に支える仕組みづくり- |
| 16 | ポスター | デザイン学部 | 大島 卓 | 北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究 |
| 17 | ポスター | 看護学部 | 中平 紗貴子 | 看護師長から見た Covid-19 流行に伴う入院患者への看護ケアの適応：日本におけるテキスト分析調査 |

その他、北海道立総合研究機構、中小企業家同友会、北洋銀行からポスター展示を予定しております。